

講義科目4-18

臨床腫瘍学モデル・コア・カリキュラム

全体目標

腫瘍疾患に関する基礎知識、診断法および治療法について理解する。

(1) 腫瘍の生物学

一般目標：

発がんおよび腫瘍細胞増殖の機序について理解するとともに、腫瘍の進展機構についても修得する。

到達目標：

- 1) 発がんの機序の各段階について概要を説明できる。
- 2) 悪性腫瘍の転移機序を説明できる。
- 3) 主な腫瘍の発生頻度を説明できる。

(2) 腫瘍の診断法

一般目標：

腫瘍の各種検査法の原理、目的および適応を理解する。

到達目標：

- 1) 腫瘍の病態、肉眼所見および関連する症状を説明できる。
- 2) 細胞診と組織診断の方法と適応を説明できる。
- 3) 代表的な腫瘍のグレード分類を説明できる。
- 4) 腫瘍の臨床病期を説明できる。

(3) 外科手術法

一般目標：

腫瘍に対する外科手術の意義と適応を理解する。

到達目標：

- △1) 腫瘍の外科手術時の注意点、適応およびその限界を説明できる。
- △2) サージカルマージンを説明できる。

△3) 代表的な腫瘍における外科的治療法を説明できる。

△4) 術中・術後合併症を説明できる。

(4) 放射線療法

一般目標：

腫瘍の放射線療法の意義と適応を理解する。

到達目標：

- △1) 放射線療法の原理、適応および限界を説明できる。
- △2) 放射線療法の根治的適応、予防的適応、および緩和的適応を説明できる。
- △3) 主な腫瘍の放射線感受性を説明できる。
- △4) 放射線による生体組織の反応を説明できる。

(5) 化学療法

一般目標：

腫瘍の化学療法の意義と適応を理解する。

到達目標：

- △1) 抗腫瘍薬を用いる化学療法の原理、適応および限界を説明できる。
- △2) 抗腫瘍薬の種類、作用機序および適応を説明できる。
- △3) 抗腫瘍薬による副作用の発生機序とその対処法を説明できる。

(6) 腫瘍に対するその他の治療法

一般目標：

腫瘍に対するその他の治療法と適応を理解する。

到達目標：

- △1) 集学的治療の概念を説明できる。
- △2) 免疫療法の原理、適応および限界を説明できる。
- △3) 支持療法と緩和療法を説明できる。